

荒川 Clean Aid News

荒川でちょっといいこと ゴミ拾い
SINCE 1994
あらかわクリーンエイドニュース

vol. 68
2012春号

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム <http://www.cleanaid.jp/>



荒川で実現する、新しい公共

人工の都市河川荒川の最下流に近い小松川自然地は、東京らしい生物多様性を知る最良の可能性を秘めている。NPOが行政の予算に依存することなく、ある種のコミュニティビジネスを自然再生の分野でNPO主導で展開する事例は非常にまれであり、新しい公共が求める地域の自治の可能性を大いに推進するものであると期待が持てる。東京らしい生物多様性を追求するには、国と役割分担を明確にし、地域の人的リソースと自然を結び付け、活動を運営することが重要となる。地域に開かれた里川の創造を推進したい。

(荒川クリーンエイド・フォーラム2011報告集 鬼頭秀一理事「東京らしい里川の在り方」より抜粋)

Contents

P2.3 【特集】「新しい公共」と小松川自然地・里川プロジェクト

「新しい公共」事業として、本格始動！
小松川自然地の変遷と市民活動
4つの活動で、利用と保全
【募集】里川イベント、参加者募集！

P4.5 ゴミの発生抑制と荒川クリーンエイド2012

【報告】まち・川・海のつながり～国際ゴミ調査の意義～
春のクリーンエイド、各地で開催中！
荒川クリーンエイドのフィールドから

P6 お知らせ

【ご案内】24時間テレビ / 【募集】身近な水環境の全国一斉調査
【報告】第16回荒川流域再生シンポジウム
ほか

「新しい公共」と

江戸川区・市民団体との協議会体制で 「新しい公共」事業として、本格始動！

このプロジェクトが東京都の「新しい公共」モデル事業に採択され、2012年度より本格的にスタートすることとなりました。「新しい公共」とは、行政だけでは実現できなかった領域を、官民協働で担うなど、市民、NPO、企業等が共に支えあう仕組み、体制が構築された状態を言います。

新たなスタートに当たり、地域の市民団体と江戸川区で構成される「里川小松川自然地協議会」を結成し、荒川クリーンエイド・フォーラムもその一員として運営を担います。

主体間連携で 持続可能な仕組み創り

このプロジェクトの醍醐味のひとつは「主体間連携」です。地域の市民団体が持つリソースを活用して、地域ぐるみの活動とすると共に、荒川クリーンエイド・フォーラムが持つ民間企業とのネットワークを活かして、民間を巻き込むことによる持続可能な仕組み創りを目指していきます。

地域住民の皆さん、環境やボランティアに関心のある市民の皆さん、環境保全や社会貢献に関心のある企業の皆さん、この新しいチャレンジに参加いただき、共にこの地の自然を守り育てていきましょう！

2010年度、「里川創造プロジェクト」の最初の拠点としてスタートした荒川・小松川自然地でのプロジェクトが、この度東京都の「新しい公共」モデル事業に採択され、小松川自然地・里川プロジェクトとして本格的に始動しました！改めて、本プロジェクトの目指すところや、2012年度の計画などをお伝えします。

身近な都市の自然 小松川自然地

荒川の最下流に位置する小松川自然地(江戸川区)は、小松川千本桜に近く、多くの人々に親しまれている身近な都市の自然地です。2000年より、荒川下流河川事務所により、コンクリートブロックの岸辺を取り去って、より自然な水際にする工事が行われました。その後、干潟に様々なカニやトビハゼなどがすむ自然豊かな水辺に生まれ変わりました。

利用しながら保全する

東京らしい里川(さとかわ)の創造

近年、河川環境の保全をめぐる「里山」にちなんだ「里川」という言葉が使われるようになってきました。「里山」も「里川」も、人の生業(なりわい)が生態系の一部に組み込まれた点では、考え方は同じと言えます。この考え方のもとに、ここ小松川自然地で、地域住民等が、自然と触れ合い学ぶ環境学習等の場として利用しながら、自然環境が守られていく仕組み、「東京らしい里川」の創造を目指します。

小松川自然地の変遷と市民活動

荒川下流河川事務所 荒川クリーンエイド
この活動は荒川下流河川事務所と地域の市民団体等や学校、民間企業などが協働して実施しました。



外来種の除草やヨシ刈り、自然環境教室などの市民活動を通して多くの人々に荒川の自然環境の現状を理解してもらおうとともに、荒川に関心をもってもらうことを目的としています。

- ・小松川自然地は都営新宿線「東大島駅」より徒歩数分の場所に位置し、都内からのアクセスも良く、小松川千本桜などの観光名所も隣接し、多くの人々に親しまれています。
- ・ヨシ原や干潟を再生するため、既設のコンクリート護岸を取り除き、水際を緩やかな傾斜となるよう整備しました。また、水際の前面に波消し対策(木工沈床)を置いて、ヨシ原を波から守る水辺を作りました。



整備前



整備直後(平成16年)



整備後(平成20年)

平成12年(2000)~平成16年(2004)にかけて、国土交通省荒川下流河川事務所にて自然地の再生工事を行いました。

木工沈床でヨシ原を守ります。
水際から少し離れたところに石を詰めた木のわくを設置し、波でヨシ原が削られるのを防ぎます。



木工沈床を設置した後は、ヨシやイセウキヤガラなどの植物が広がり、様々な生き物が戻り、親しみやすく、学び、遊べる要素で満ち溢れる水辺に生まれ変わりました。

小松川自然地・里川プロジェクト

4つの活動で、利用と保全 ～市民・民間の参画を推進～

本プロジェクトでは、次の4つの活動を通して、この地の**生物多様性を保全**し、人々における**生態系への理解**を進めながら、**地域や企業の参画**を推進します。どなたでも参加いただける里川イベントを開催するほか、小中学校の環境学習や、企業の社会貢献活動としての参加も募集しています。

外来植物の除草

特に在来植物の生育を阻害する外来植物の抜き取りなどを行い、下流河川に本来あるべき自然環境を取り戻します。

枯れたヨシを刈り取り除くことによって、ヨシが窒素やリンなどを吸収し水を浄化する働きを高めます。

冬季のヨシ刈り



地域市民のイベント参加

学校環境学習として

企業社会貢献活動として



自然環境教室

荒川の水辺や草原の動植物と触れ合い、生態系やその保全への理解を深めます。

除草やヨシ刈りによって、本来あるべき自然がどのように戻ってくるかを経過観察し、保全計画の策定に活かします。当面は、協議会内での活動となります

モニタリング

里川イベント、参加者募集！ = 春・秋7～10回開催予定 =

外来植物の除草やヨシ刈り、自然環境教室などを組み合わせた、里川イベントを開催します。春～初夏には、次の3回を予定しています。ぜひご参加ください。

【春の里川イベントの概要】

	実施日	イベント名	内容(予定)
1	4月22日(日)	春の小松川自然地探検	水辺の生き物探し、外来植物の除草、春の草花観察など
2	5月20日(日)	外来植物の若葉観察と除草体験	セイタカアワダチソウの新芽を探し、除草を体験。干潟でカニ探しも。
3	6月9日(土)	初夏の植物や昆虫の生き物調査	初夏の植生を実感し、そこに生息する昆虫などの生き物を調査します。

時間 各回10:00～12:00 雨天中止
 集合 荒川河川敷・小松川自然地 都営新宿線 上流右岸 東屋前 9:50集合
 対象 自然環境・生き物・ボランティアに関心のある方 小学校3年生以下は保護者同伴
 参加費 無料

詳しくは、荒川クリーンエイド・フォーラムのホームページ【主催イベント】をご覧ください。

お申込・お問合せ

里川小松川自然地協議会事務局
 (荒川クリーンエイド・フォーラム内)
 TEL 03-3654-7240
 FAX 03-3654-7256
 E-mail renraku@cleanaid.jp
 URL <http://www.cleanaid.jp/>

荒川クリーンエイド2011報告・連絡会 第二部 話題提供

まち・川・海のつながり ～国際ゴミ調査の意義～

(話題提供の様子)

2011年、国際ゴミ調査に適応するため、会員の皆様と共にゴミ調査カードの改訂を進めて来ました。報告・連絡会では、荒川クリーンエイド・フォーラムがローカルNPOとして国際ゴミ調査にどう向き合っていくべきかを模索するため、その意義について、JEAN事務局長 小島あずさ氏に話題提供をいただきました。内容を抜粋してお伝えします。

1 国際海岸クリーンアップ(ICC)とは

拾ってきれいに から 調べて出さないために

ICCは、1986年に米国テキサス州でスタートし、日本では1990年から継続的に取り組んでいる、海を中心とした国際ゴミ調査活動です。毎年、9～10月に同じやり方で集めたゴミの内容を記録し、国際的に集約してゴミの実態を把握しています。「ゴミを拾ってきれいにする」ことに留まらず、「調べて、出さないようにする」ことがその大きな目的です。

2 ICCの成果:

調査データを根拠に、企業や国に提言

調査データにより、米国・日本国内において、ゴミの現状把握と、発生元企業や国への提言がなされてきました。

米国での成果:

対発生元: モートン社の塩袋(激減へ)、6パックリング(生分解性となる)

対国: 「海洋プラスチック汚染調査・管理法」の策定

日本国内での成果:

対発生元: レジンベレット() (漏出防止マニュアルの作成)、発泡スチロール製フロート(硬質フロートの商品化)

対国: 「海洋漂着物等処理推進法」の制定

注:()レジンベレットとは3～5mm粒状のプラスチック製品の原料。

国際的な成果:

米国の6パックリングが日本の調査に挙がるなど、ゴミの移動に関わる推察を可能としている。

3 ゴミは旅する

海ゴミの6～8割は、陸から発生

水辺に堆積するゴミは、醜いだけでなく、多くの生物を傷

小島あずさ氏
プロフィール
一般社団法人JEAN事務局長。国際海岸クリーンアップの日本事務局として、国内の調査を牽引し、国内外のゴミの発生抑制への取り組みを続けている。



ついています。JEANが2011年6月に視察調査を行った北西ハワイ諸島ミッドウェイ環礁では、世界中から漂着したゴミによるコアホウドリへの被害を目の当たりにすることとなりました。(写真参照)

また、海ゴミの6～8割は、川を含めた陸から発生していることが明らかとなっています。つまり、すべての人が、世界の海ゴミの原因の一部であり、また、問題解決の一部を担っていると言えます。

4 多様な場所での、共通の手法による 継続的な調査が必要 共に発生抑制策を!

湖沼、川、流れ、雨水管等が、風にも助けられてゴミを海に運び、更に海流や風が海ゴミを運んで世界を回ります。様々な場所でのデータを分析することで、ゴミの発生や移動のメカニズムを知ることができます。

また、共通の調査方法で実施することにより、広域的な課題を抽出し、国としての対策を求めることができます。継続的に調査に協力いただくと共に、今後も、発生抑制策の具体案を考え、実現に向けて行動を共にしていただけることを期待しています。

.....
【今後に向けて】今回の話題提供では、ゴミの調査データを基に、現状把握と発生抑制に向けた提言活動がなされていることを共有しました。国際的な発生抑制への取り組みについては、更なる成果が待たれますが、今後も、発生抑制の視点で荒川クリーンエイドに取り組んでゆくこと、そして、国内・世界とつながりながら、ゴミ問題の解明や発生抑制に向け歩みを進めることが重要と思われます。

北西ハワイ諸島ミッドウェイ環礁の
コアホウドリの雛



コアホウドリの胃の内容物
～プラスチックの破片が多数を占める(トレイ右上)



ミッドウェイ環礁に漂着したゴミの山
～日本語表記のあるゴミが混じる



荒川クリーンエイド2012

参加者・実施団体
募集中!

春のクリーンエイド、各地で開催中!

今年度も各地で荒川クリーンエイドの活発な実施が予定されています。8月までの一般参加者募集会場は下表の通りです。年間を通じて各地で開催されていますので、お気軽にお問い合わせください。実施の受付も随時行っております。

一般参加者を募集している会場(4~8月) ~どなたでもご参加いただけます~

(3/20まで受付分)

	会場名(最寄駅)	市区名	実施日	曜日	実施団体名	他のイベント	事前申込要/不要
1	荒川釣堀池周辺(川口駅)	川口市	4月8日	日	荒川夢クラブ	春の自然観察他	申込不要
2	河原町原っぱ(川口駅)	川口市	4月28日	土	埼玉県生態系保護協会・川口支部、かわぐちッ子荒川クラブ	野草摘み	申込不要
3	板橋生物生態園(蓮根駅、浮間舟戸駅)	板橋区	4月15日	日	いたばし野鳥クラブ	自然観察会	申込不要
4	岩淵水門広場(赤羽岩淵駅)	北区	6月24日	日	ボーイスカウト東京連盟城北地区北第11団	野外料理、ゲーム、自然観察	申込不要
5	四ツ木橋上流(八広駅)	墨田区	5月19日	土	(株)エックスワン		申込不要
6	四ツ木橋下流(四ツ木駅)	葛飾区	4月21日	土	あらかわミズガキ隊、葛飾区	生物調査	申込不要
7	JR総武線下流(平井駅)	江戸川区	4月8日	日	下平井水辺の楽校、NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム	魚の解説、干潟遊び他	要申込
8	小松川橋下流(平井駅)	江戸川区	4月10日	火	JAMBO International Center		要申込
9	都営新宿線周辺(東大島駅)	江戸川区	6月3日	日	「24時間テレビ」チャリティー委員会、NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム	自然環境教室	5/8までに申込(P6参照)
10	葛西海浜公園 西なぎさ(葛西臨海公園駅)	江戸川区	4/21,5/19,6/16,7/21,8/18	土	西なぎさ発:東京里海エイド	自然観察ミニ講義	要申込

詳細はホームページ(<http://www.cleanaid.jp/information/>)をご参照いただくか、事務局までお問い合わせください。

荒川クリーンエイドのフィールドから

毎号、はじめて荒川クリーンエイドを実施された企業や団体の皆様に活動の成果や感想などを寄稿いただいています。今回は、秋のクリーンエイドに参加された企業の活動をご紹介します。

家族を含めて生態系保全に取り組み、学ぶ場を設けたい!

NEW リコーテクノシステムズ株式会社 鳴島 里美 さん

リコーテクノシステムズは、複写機・プリンターなどの画像機器からIT環境の構築・運用保守まで、マルチベンダー24時間・365日のサポート体制と豊富なメニューで対応できるワンストッププロバイダーです。私達は、環境に配慮した取組みは勿論のこと、社員が環境保全活動に自ら参加することで、社会的問題にも広く目を向けて、自己成長できる環境の場をつくっています。

その活動の一環として、荒川の最も下流にあたる葛西海浜公園の「西なぎさ」での漂流ゴミの清掃や秋ヶ瀬運動公園・熊谷市内河川敷の会場で市民の皆様と一緒に活動しています。そのような中、今回私達は団体登録をして、2011年11月12日(土)「家族を含めて生態系保全に取り組み、学ぶ場を設けたい。」という想いから、東京スカイツリーが間近に見える木根川橋周辺の河川敷で活動を主催いたしました。

川沿いのジョギングロード脇には、タバコの吸殻が圧倒的に多く、草むらでは故意に捨てたとみられるタイヤや自転車も回収しました。清掃は1時間ほどでしたが、前日の雨でゴミも水分を含み、拾うのに大変苦労しながら、可燃物5袋、不燃物3袋、ペットボトル2袋、粗大ゴミを回収しました。

また、清掃の後、都会では自然に触れて学ぶ機会が少な

いので、プロの自然案内人による「自然観察講座」を開催しました。コオロギ、バッタ、テントウムシ、カマキリ等の昆虫が見つかり、ゴミの散乱する過酷な環境下でも強く生きぬいている姿を見て皆さん感心しきりでした。

ゴミのポイ捨てをしない事などが環境保全の啓蒙に繋がり、結果として生物多様性を維持します。私たちは、真に自然と都市とが共存できる日が来ることを信じて、清掃活動を続けていきたいと思っています。



これまで、他の会場に参加されていらっしゃいましたが、今回、主催団体として独立して実施されました。ゴミ拾いに加えて、生物多様性にも目を向けた活動を展開され素晴らしいことと思っています。(荒川クリーンエイド事務局)

お知らせ

24時間テレビ **参加者募集!**4/6受付開始!
5/7〆切

「荒川クリーンエイドアクション2012」

今年も「24時間テレビ」チャリティー委員会と荒川クリーンエイド・フォーラムとの共催で荒川での清掃活動を実施します! 清掃後には、自然環境教室も開催しますので、ふるってご参加下さい!

日時 2012年6月3日(日) 9:00~12:30予定

場所 荒川河川敷 **定員** 300名(関東地区在住の小学生以上の方。小・中学生は保護者同伴)
先着順・定員になり次第〆切

申込方法 ハガキまたは封書に参加者全員の氏名・年齢・性別・〒住所・電話番号をご記入の上、送付先住所までご郵送下さい。5名以上の場合は封書で、同じ住所の方が複数申込の場合はまとめて一通で。参加者には後日詳細をお送りします。

送付先住所 〒105-7444 港区東新橋1-6-1日本テレビ内24時間テレビ事務局「荒川クリーンエイドアクション」担当

お問合せ 03-6215-3008 (平日10~18時)**HP** <http://www.ntv.co.jp/24h/>

詳しくは、「24時間テレビ」HPまで



参加者募集!

「身近な水環境の全国一斉調査」

全国のさまざまな河川等で、同じ日の同じ時間に実施する水質調査に参加しませんか。今年は、**6月3日(日)10時を中心**に実施します。参加を希望する方は、**4/27までに**当フォーラム事務局にお申込みください。

ご寄付・ご協賛 (2012年1月~3月決定分)

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

一般寄付 株式会社丸井、グリーン家電エコポイント、住宅エコポイント

会員募集 ~会員となってご支援ください!~

荒川クリーンエイド・フォーラムの活動は、会員の皆様からの会費収入等により成り立っています。当フォーラムの趣旨にご賛同いただける個人・団体の皆様のご入会を心よりお待ちしております!

年会費 個人正3,000円 / 団体正10,000円
/個人賛助2,000円 / 団体賛助8,000円

会員特典

会員になると、次の特典が得られます。

- 1 団体として荒川クリーンエイドを実施いただけます。
- 2 ニュースレターをお届けします。
- 3 年次報告集(アニュアル・レポート)をお届けします。
- 4 エコツアー等イベント参加費、グッズ販売価格等が割引になります。
- 5 [正会員]総会での議決権があります。

第16回荒川流域再生シンポジウム 報告

天然アユを活かした
川の再生と地域おこし

2月19日、埼玉県嵐山町 国立女性教育会館で開催された今回のシンポジウム。都幾川の嵐山などで、地引網漁の後にアユの塩焼きを食べるなどのイベント、新河岸川では、地元商店街と協力して新河岸川で獲れた魚を店に展示してもらい、町の人々の川への関心を高めている事例も紹介されました。

このように、アユや川漁をテーマとしたイベントや事業が進められています。今後も、こうした荒川流域各地の取り組みをつないで、その社会的意義を流域内外に更に発信してゆくことが望まれます。

主なプログラム

活動報告 「2011年度のアユの遡上環境調査の結果報告と2012年度の調査予定」

/金澤 光(埼玉県環境科学国際センター自然環境担当部長)

活動報告 「新河岸川水系におけるアユ増殖活動の近況報告」

/小林 一己(埼玉南部漁業協同組合朝霞支部長)

活動報告 「里川づくり県民運動~これまでの取組・今後の展開~」/針谷さゆり(埼玉県水環境課副課長)

みずかけ「サ」論 「天然アユを活かした川の再生と地域おこし」

また、カワウの漁業への被害に関連して、営業地において、産卵期に卵のある巣に氷を入れて孵化させないようにする対策方法が紹介され、漁業関係者の注目を集めました。



荒川クリーンエイド ニュース vol. 68 2012春号

2012年4月2日発行

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

TEL 03-3654-7240

FAX 03-3654-7256

URL <http://www.cleanaid.jp/>E-mail renraku@cleanaid.jp